

# 市民文化会館などを配置

## 旧葛塚中学校跡地利用構想

葛塚中学校の移転新築に伴い、跡地の有効活用と多様化する市民ニーズに対応する公共施設などの配置計画を検討してきました。

検討にあたっては、市民懇談会などを開催し、市民の皆さんならび市議会から多くの意見をお聴きしながら構想をまとめました。またまとった構想を紹介いたします。

### 市民懇談会での主な意見

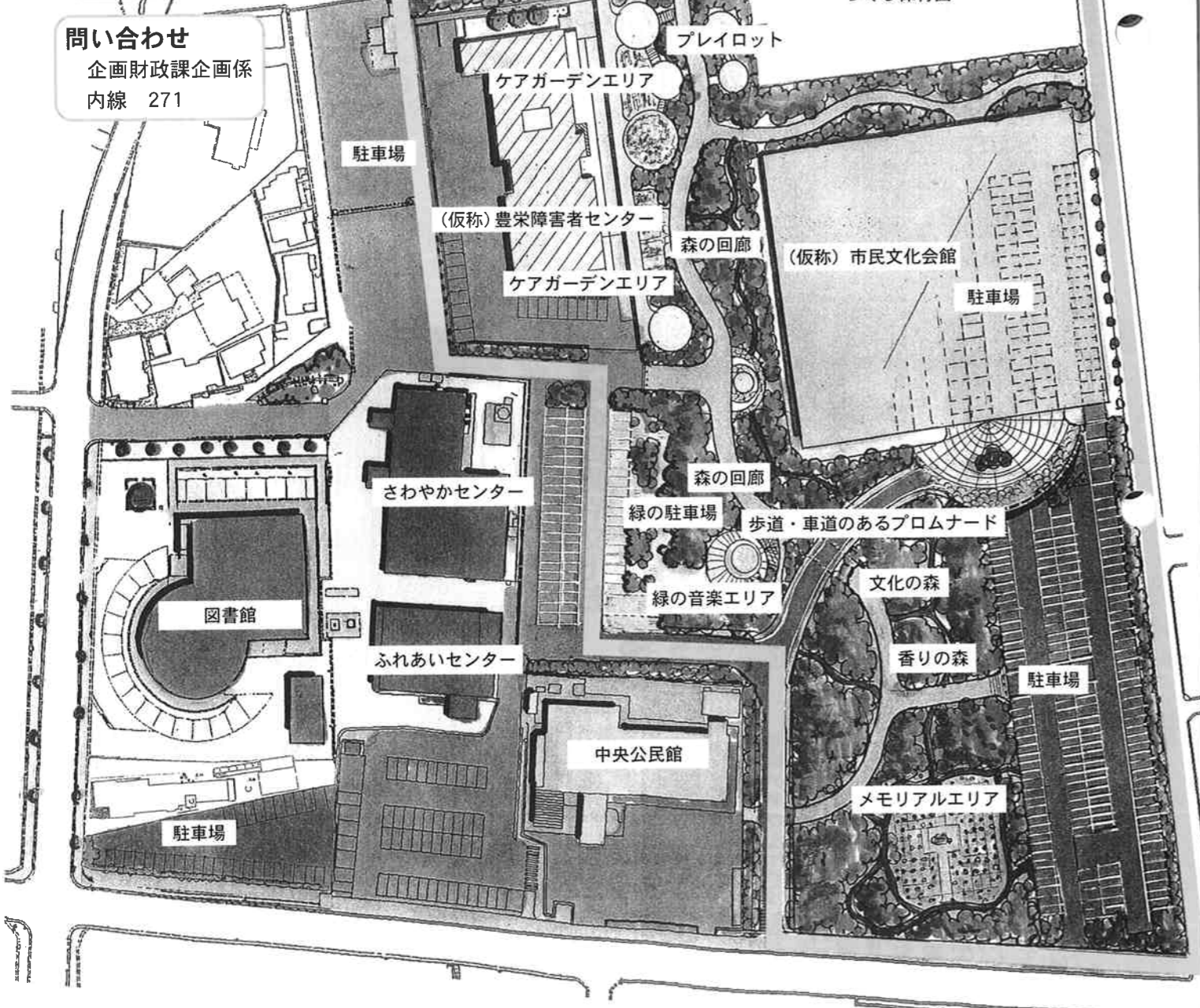
- 平成15年度、市民選出委員10人による懇談会および公開による懇談会を計3回、市役所職員による策定委員会を5回開催し、検討してきました。その懇談会での主な意見などを紹介します。
- 市民文化会館を中心にしたまちづくり  
①市民文化会館建設の構想を中心にすることが適当である。
- ②市民文化会館建設計画の推進にあたっては、合併を踏まえた将来のまちづくりなどを考慮し、市民参画の手法を取り入れた計画的で、効率的な実施を図ること。



### 盛り込んだ施設の主な理由

- ◇(仮称)市民文化会館  
地域の文化の中心となり、市民の心のよりどころとなる施設とします。豊栄市第四次総合計画や、新市まちづくり計画である合併建設計画にも建設が計画されています。
- ◇(仮称)豊栄障害者センター  
現在、市内にある4つの小規模作業所の老朽化が著しく、緊急性が非常に高いため、既に建設が進められています。
- ◇つくし保育園  
市が委託する公認保育所であり公共性も高く、保育環境の面からも葛塚跡地が適切と考え、盛込んでいきます。また現在の園舎が老朽化し、緊急性が認められます。
- ◇(仮称)豊栄児童センター  
市街地中央に大型児童センターを設置し、中学生・高校生を含む児童の健全育成を図ることとしています。設置場所は、つくし保育園跡地を検討しています。

## 葛塚中学校跡地利用構想図



構想図はイメージ図です。また、平成19年度を初年度とする新市総合計画・実施計画にこれなどの施設建設が取り込まれることから、将来の社会経済状況に伴い変動する場合があります。

- 駐車場は最小限に  
①駐車場は、都市機能の一つとして最小限にとどめ、不足分は市街地周辺に確保する。
- ②一方で、駐車場は中心市街地の活性化につながるため、合併後のまちづくりの拠点となるように。
- 守らざる公園を  
跡地は、市街地の中心部にあることから、市民がやすらぎを感じるような公園・緑地が必要である。
- バリアフリーなどの推進  
障害者や高齢者を対象にしたバリアフリーの推進や、できる限り全ての人を対象にしたユニバーサルデザインの考えを取り入れること。
- ※ユニバーサルデザインとは、全ての人が共通して利用しやすい施設設計です。

### 跡地利用構想の内容

■市民が元気を求めて  
この跡地が、市街地の中心に位置するなどの特徴から、「市民が元気を求める」

- 文化施設と福祉施設などを導入  
「市民が集う育みの拠点」を文化ゾーンと福祉ゾーンとし、施設整備を図って行くことにしました。
- 文化施設や福祉施設を配置しながら、人の流れをつくり中心市街地の活性化と、安らぎのある快適空間を創り出すことにしました。

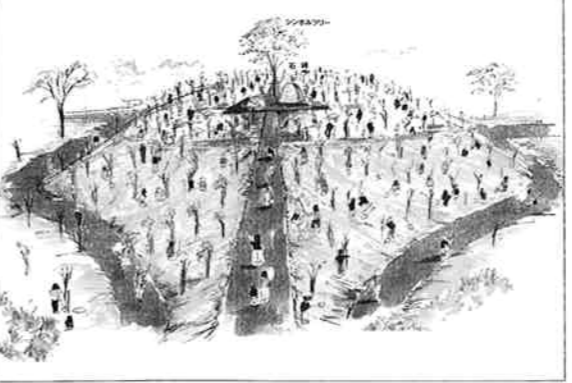
### 盛り込んだ施設の内容

- 市民文化会館・障害者センター・つくし保育園・児童センターを配置  
文化ゾーンには(仮称)市民文化会館を、福祉ゾーンには(仮称)豊栄障害者センターとつくし保育園をそれぞれ配置します。
- ・跡地の一部と現在のつくし保育園用地との交換を行い、(仮称)豊栄児童センターをつくし保育園跡地に検討します。
- 市民文化会館に合った駐車スペース  
大規模な駐車場の設置は避け、市民文化会館の規模に合った、必要最小限のスペースを確保します。
- ・ゆとりある空間として整備する考えから、緑化に配慮した駐車場の設置や市民文化会館一階部分に駐車場の

て集う育みの拠点」と位置付けました。市民が集い、ふれあうことを通して、お互いを育み、高める拠点にしたいと願っています。

設けるなどの工夫を行います。不足分の駐車場は市街地周辺に設置し、シャトルバスの運行や遊歩道の設置により、中心市街地へ人が回遊するような検討をします。

### 市民植樹祭 イメージ図



- 緑地・プロムナード(散歩道)  
既存の周辺施設のどこからでも回遊できる遊歩道を設け、「四季の香りの森」や、「子どもの遊びのエリア」を設けるなど、特色のある緑化計画を工夫します。
- ・閉市記念事業の一環として行う市民植樹祭・記念碑設置の会場を「メモリアルエリア」とし、周辺緑化計画の出発点とします。
- ※駐車場・公園緑地の具体的な計画は、市民文化会館の計画づくりの際に併せて検討します。